



令和6年度 関係者評価の結果について

学校法人 北邦学園
東橋いちい認定こども園

令和6年度に実施した東橋いちい認定こども園の自己評価の結果についての関係者評価の概要は次のとおりです。

建学の精神「自然から学ぶ」

1 本園の教育保育目標

◎ 思いやりのある子

◎ 考え工夫する子

◎ 明るくたくましい子

関係者評価の区分

- A：成果を上げている。
- B：ある程度成果を上げている。
- C：もう少し努力が必要である。
- D：改善が必要である。

【各学年のねらい(年間)】

- 0歳児 保育教諭や友達と一緒に安心して過ごす中で、いろいろな遊びに興味をもち、園生活を喜ぶ
- 1歳児 保育教諭や友達と一緒に安心して過ごす中で、自分の思いを表現しながらいろいろな遊びを楽しむ
- 2歳児 友達や保育教諭に自分の気持ちを言葉で表現し、活動や遊びを楽しむ
- 3歳児 様々な遊びや活動に興味をもち取り組む中で、自分なりに気持ちを表現しながらいろいろな友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- 4歳児 クラスの友達と一緒にいろいろな遊びや活動に意欲的に取り組み、自分の気持ちや考えを伝え合いながら遊ぶことを楽しむ
- 5歳児 様々な活動に取り組む中で、自分なりに目標や見通しをもって意欲的に行動することや、いろいろな友達と気持ちや考えを認め合いながら自信をもって遊びや活動を進めることを楽しむ

自己評価	各学年のねらいに対する評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
自己評価 「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画した、それぞれの年齢での子どもの育ちとしては、概ね目指してきた姿に達することができたと感じる。 ・乳児クラスに関しては、発達に合わせて一人ひとりが安心して過ごせるように保育者との愛着形成や保育環境を意識して援助を行えたと感じる。 ・幼児クラスに関しては、多様な体験と経験を通じて個としてまた集団としての成長に繋がられるよう援助が出来たと感じる。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態を正しくとらえ、一年間を見通した適切なねらいであった。子どもたちの姿を通して成長を実感できたことも適切な支援があったからだと思います。 ・初めての集団生活のお子さんだと、少しずつ環境に慣れていく姿を保護者としてたくさん感じた一年だった。 ・年齢に合わせた関わりをしてきていたと思います。 ・子どもたちが安心して過ごせる様、援助していただけたと感じ、とても成長を感じられました。

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目 標	具体的な取組み計画	自己評価	関係者評価	
			評価	意見等
保育環境の工夫 自己評価 「B」	<p>☆「遊び」の広がりや発展に繋がる環境創りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> *保育室内の玩具の見直しと充実 *園庭の整備による魅力の向上 *遊戯室の環境整備の実施 *園内研究を通しての保育室内の環境構成の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化する自然環境と安心して過ごせる室内環境、どちらにしても子どもたちがより身近に感じられるよう、玩具や環境整備を常に意識して保育を行った。 ・子どもたちが遊びのイメージを膨らませ発展させながら、様々な経験に繋がるように素材や環境構成を意識し取り組んだ。しかし準備や計画性という点に関しては、日々の忙しさの中で意識が薄くなってしまいうこともあるため、今後も継続して取り組めるようにしたいと考える。 ・今後も新たな玩具制作や園庭遊びの充実に向けて取り組んでいきたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内や園庭など、安全に配慮し、遊びの広がり意識しながら、できる限りの環境づくりを心がけていると思います。 ・季節や年齢に合わせた『遊び』をいつも計画してくれていてどんな遊びをしたのか見るのがとても楽しみでした。 ・より良い環境作りを常に意識して頂けることは、とても素晴らしいことと思いました。 ・毎月の制作もいつも手が込んでおりとても工夫が感じられました。 ・今ある玩具で今後もどの様に遊びを楽しむのか考える機会としてこのままでも良いのではと感じました。

<p>発達に応じた子どもの理解</p> <p>自己評価 「B」</p>	<p>☆子どもの発達過程やその思い・言葉に寄り添う</p> <ul style="list-style-type: none"> *子どもの気持ちに寄り添った保育援助の工夫 *子どもやその保護者とのコミュニケーションの充実 *発達の理解と援助や支援の学びの充実 *様々な観点からの情報共有や連携・相談の意識向上 <p>・様々な場面の中で、子ども一人ひとりの姿を受けとめ、その子ども達の育ちに合わせた援助を考え、成長へと繋げられるよう意識する。</p> <p>・報連相や職員間での連携を意識し、保育に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本園が作成している教育保育課程や日々のねらいを意識して一人ひとりの姿や思いに寄り添いながら丁寧な援助を行うことはできたと感じる。しかし、集団での活動になると個別の援助を要する状況が多く見られることから、今後も発達や支援に応じた学びを深めていきたい。 ・子ども同士で関わり遊ぶ経験を通して、豊かな想像力を育むとともに、自分とは違う相手の存在や視点・思いに気付く時には葛藤し、自分の感情や意思を表現しながらも自己を発揮できるような援助を行った。 ・個々に合わせた適切な援助や支援を行えるよう細かな情報共有や園児理解に努めた。 	<p>「B」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにしっかりと寄り添った援助をしていると感じた。またこれからも研修を重ね、細かな情報共有によって誰もが同じレベルの支援が出来るように期待しています。 ・コドモンでの連絡帳やお迎え時の先生たちとのコミュニケーションから、子どもたち一人ひとりの性格を理解した上で、関わって頂けていることを感じ、安心しました。 ・発達がゆっくりだからと言って全てを手伝うのではなく、見守るという援助が有難いなど感じました。自分でできないことを見守りそして時に助けてもらえることが、子どもにとっても今後の意欲となり、成長にも繋がっていると感じました。
<p>職員同士の連携と情報の強化</p>	<p>☆職員一人ひとりの業務やチームとしての意識力向上に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> *保護者からの情報と連携を取るための対策の見直しと改善 *職員一人ひとりの『自分の得意』を活かせる場を作る *職員の意識力向上に努める <p>・管理職が一変したことで、これまでスムーズに行なえていたことや、業務においても確認することを意識して努めた。次年度も、子どもたちはもとより、保護者の方にも安心して通っていただけるよう意識して努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を深めるために、集団生活の中で子どもの育ちや困りなどをしっかりと把握し、家庭との連携を密にしながら情報を共有し、傾聴を意識して丁寧に対応することを心掛けた。 ・職員同士の連携という点においては、クラスでの心配事や悩み事を、一人で抱え込まないように、管理職を中心として園全体で共有することで、チームとしての意識力向上に努めた。しかし、経験年数において、考え方や思いも違うため、互いにあゆみより上手く進められるような環境作りを今後も意識していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに補い合っという意識と共に、個の特性を更に伸ばすことでチームとしてのパワーアップに繋げるという考えが今の時代に合っていると思います。 ・世間での考え方等の違いは、どこの職場でも課題かと思っています。気軽に意見交換が出来るオープンな雰囲気づくりが大切だと思います。 ・職員同士のチームワークの良さは保護者にとっても安心感に繋がりました。互いに歩み寄れる環境を意識して取り組まれていることはとても良いことと思います。 ・心配事や悩みを気軽に話せる職場環境、それによって園児達への関わりも良くなると

自己評価 「C」		<ul style="list-style-type: none"> 得意を活かし場においては、絵を描いたり、縫物をしたり、ピアノを弾いたりと個々で発揮する姿は見られた。今後は、それを披露する場を設け、その経験を通して自己肯定感を高められるような職場作りを行っていききたい。 	「B」	<p>思います。また、先生たちも楽しく保育が出来るようになって感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活発表会の先生が描いた背景画がとても上手くてびっくりしました！ 沢山の先生たちと話をしましたが、誰かに伝えたことは、しっかりと連携されて心強かったです。
----------	--	--	-----	--

3 評価項目の達成及び取組み状況について（※各個人の自己評価チェックリストによる）

評価項目	達成及び取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等
「教育保育の計画性」について 自己評価 「C」	<ul style="list-style-type: none"> 東橋いちいの職員として、それぞれが努力し保育に取り組めた点は、評価できると感じる。 北邦学園の教育理念や東橋いちいの教育保育目標に対する意識の低さを感じ、改めて学園の一員としての意識を持って職務に励むことが出来るよう取り組んだ。しかし、まだまだ理解を深めていきたいと考えるため、今後も引き続き取り組んでいきたい。 主任を中心として、学年部会を行いクラスの状況を把握すると共に、職員間での連携にも繋がるよう時間を掛け、話し合い計画的に進めることが出来た。特に大きな行事になると、日々の保育の中でも業務の優先順位が混乱する様子も見られたため、管理職が適宜個別に対応したことは、今後の改善点として意識したい。 	「B」	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに伺った教育計画はしっかりと一年を見通した計画だと感じました。一人一人が理解を深めることで、より計画内容が現実と繋がってくると期待しています。 教育目標に近づけたり、達成させるには毎日の会議などで、復唱するなどはどうかなと思いました。 管理職の先生たちが中心となって気付き、適切な対応が出来ていることに安心感を感じていました。 様々な行事の準備+日常の業務で大変なこともあると思うので先生達がより業務がスムーズになると嬉しいです。

<p>「教育保育のあり方、幼児への対応」について 自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の成長や発達に合わせて、職員一人ひとりがしっかりと園児の気持ちに寄り添い対応できたと考える。しかし、個々への対応を重視するあまり集団としての連携の強化に視点が回らなくなってしまうこともあったため、今後の改善、努力として引き続き取り組んでいきたい。 ・日々、園児に対しての援助方法や指導について、また楽しいと思える保育などを考えて適切な対応を行えたと感じる。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の様子からは、子どもに丁寧に対応する先生たちの気持ちがとてもよく伝わってきました。 ・集団行動は家庭では経験できないことであり、社会の中では、必要な行動だと思います。こちらにも今後に期待したいです。 ・集団での生活なので、一人ひとりへの対応も大変だと思います。保護者からの相談以外は、気楽に見守るなどでも良い気がします。 ・十分に子どもたちに寄り添った対応をして頂けたと思います。
<p>「保育者としての資質と能力」について 自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職務と並行として、自身のスキルアップのための研鑽に励む姿は、保育者として頼もしく感じた。今後も資質能力向上のため、積極的に研修に出かけられるよう職場環境作りに努めたい。 ・外部研修のみならず、職場での絵本を取り入れた『キラキラ研修』を充実させることで、保育者としての意識を高められるような職員環境を意識したい。 	<p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で、保育者としてのスキルアップを目指した研修に取り組んでいると感じます。 ・定期的に行なわれる研修がとても意識が高い園だなと思い、子どもを通わせる側としても頼もしく安心します。 ・日々、忙しい職務と並行して研修に参加することは大変だと思いますが、是非引き続き頑張って頂けたらと思います。
<p>「保護者への対応」について 自己評価 「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの保護者との関わりは、丁寧に行なっていたのではと感じる。しかし、その反面、職員の経験や保護者の思いに対する対応に至らない点があるため、今後も努力が必要と感じる。引き続き子どもや保護者の思いを大切にしながら対応できるよう努めたい。 ・アンケートなど保護者の方のご意見をいただき、努力は行ってきたと感じる。今後も園としての説明や対応を丁寧に行い引き続き、努力していきたいと考える。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応は、十分すぎる位だと感じます。時代もあるので、大変なこととは理解しますが。 ・忙しい中でも、保護者に寄り添った対応をして頂き安心感がありました。 ・保護者の言葉をきちんと受けとめ、可能な限り改善し、努めようとしていることが伝わってきます。 ・保護者としっかり対話する関係の構築が大切だと感じました。

<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>自己評価 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、近隣の学校や施設にもご協力をいただき、連携の強化に努めることが出来た。 ・月1度の災害避難訓練には、先ず職員一人ひとりが危機管理に対する意識をもち対応するよう心掛けた。 ・備蓄品やハザードマップなども随時確認し、対応をした。担任用のヘルメットも購入したことで、園全体としての意識も高まり、より訓練への参加意欲も強まった。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東橋小との交流も、事前に打ち合わせを行い、大変有意義なものとなっていた。 ・保護者とも災害時の流れなどを共有できると良いなと思いました。
<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究は、今年度札私幼の公開保育を行ったことにより、自園の保育を振り返り大きな学びと保育者自身の経験や自信へと繋がった。 ・研修に関しては、それぞれが自分にとって学びたい内容や自ら選んだ研修に参加出来たことは、大きな評価としてあげられる。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の子どもの姿が何よりこれまでの研究・研修の成果と思いました。子どもたちの生き生きと活動する姿が素晴らしいと思いました。

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
① 保育教諭の主体性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自己目標を設定することで、どんな自分でありたいか、どのように行動すべきか自発的且つ見通しをもって意欲的に行動できるよう促していきたい。 様々な場面の中で、自分自身がしっかりとした目的や意志をもち、自主的行動へと繋げられるよう、個々に話し合いの場を設けたり、困った時には相談できるような職場関係作りを意識したい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> 保育教諭のだれもが自身の目標をもち、前向きに取り組める職場環境を期待します。 個人の目標を職員室に貼りいつでも振り替えられるようにするのは、どうでしょう？
② 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 園舎の経年的な変化もあるが、安全対策を強め、園舎内外の保育環境の見直しを行い、子どもたちが安心してより、いきいきと積極的に遊びたくなるような整備と環境構成に取り組む <p>※園庭遊具の配置、園内外の玩具の見直し、保育室環境の修理整頓</p>	「A」	<ul style="list-style-type: none"> 予算との関係もあると思いますが、まずは安全第一に保育環境を整えることが大切だと考えます。
③ 保護者との密な連携	<ul style="list-style-type: none"> 園運営や行事などについては、これまでの保護者アンケートをもとに、柔軟に対応し努めながら、保護者の考えや思いに少しでも寄り添えるよう細やかな配慮や素早い対応を意識したい。 新2号園児が増えている現状として、様々な家庭環境のご家庭に対しても、その状況に合わせた連携を行い、安心していただけるような保育体制を整えていきたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に傾聴しながらも出来ることと出来ないことについて丁寧に伝え、理解を得ていくことが大切だと思います。